

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

001	事業名	男女共同参画セミナー等の開催	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	70,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画に関する講座や講演会等を年1回程度開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 多様な夫婦のあり方を知るとともに、固定的性別役割分担意識の解消に向けた2回連続講座を実施した。①10/21「夫婦間のさまざまな悩みを知る」、②10/28「多様な夫婦のカタチを知る」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 80 %		<目標> 80 % <実績> 94 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:48人(女性46人、男性2人) 募集人数:60人(30人×2回)		「よそや世間と比べることなく自分のスタイルを見つけていきたい」「グループ討議の中で質問内容をまとめて質疑応答した進め方がよかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		20歳代～70歳代と幅広い年齢層の性別もさまざまな、多様な背景を持つ参加者に対し固定的性別役割分担意識について考える機会を提供できた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

002	事業名	男女共同参画情報誌の発行	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	449,280円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信することで、意識啓発、理解促進を図る。		年2回定期的に男女共同参画情報誌を発行する。毎回テーマを定めた特集を掲載する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 情報誌「みてみてほっと越谷」を発行・配布した。第41号(7/1発行)のテーマは「起業」で、女性が仕事を継続するために、自分にあったやり方で事業を起こす「起業」という働き方を選択肢のひとつとして伝えた。第42号(2/1発行)のテーマは「夫婦関係」で、女性の社会進出が進み、夫婦のあり方が変化する中で、悩みや問題を“夫婦”で解決するためのヒントなどを伝えた。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
発行部数		達成度		
<目標> 26,000 部 <実績> 26,000 部		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
第41号:13,000部 第42号:13,000部		市の施設などで配布するほか、自治会の回覧やホームページへの掲載など、より多くの市民に届けられるような工夫を行った。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		毎月、特集記事を充実させて、表紙には取材した市民の写真等を採用している。市民の関心が高い身近な問題を取り上げ、できるだけ地域で暮らす市民の姿や声を取材し紹介することで、市民から共感が得られる誌面づくりを行うことができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

003	事業名	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	32,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
インターネット、スマートフォンなど多様化するメディアから発信されるジェンダー(社会的・文化的に作られた性差)に関する情報をうのみにせず、主体的に読み解き、活用する能力を高める。		メディアから発信される情報を選び取る力、見極める力を養うための講座の開催やパネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 SNSでやりとりされる大量の情報を主体的に評価・識別・選択し、自らも安全に発信する力を養うための講座を実施した。9/16「ソーシャルメディア(SNS)との正しい付き合い方 知らないうちに拡散のキケン! ネット上のウソのニュースに騙されないために」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数				
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:33人(女性21人、男性12人) 募集人数:30人		「ネット情報を信頼できるか、チェックの仕方、ニュースの見方がよくわかった」「SNS、ネットを利用していないのですが、単語ひとつひとつを丁寧に説明してもらえたので、耳にしていた言葉が理解できた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		SNSに関心がある、これから始めたいと考える人や初心者の人にとっては、入門編としての学びになり、今後SNSを活用し安全に情報発信するための基本知識やネット上で氾濫する情報から必要な情報を選択したり、情報の真偽を評価するための力が高められた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

004	事業名	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	10,800円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		国の男女共同参画週間等に合わせて、パネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①4/4~4/28世界と日本の男女平等、②5/6~5/27統計に見る女性の『仕事』と『生活』のいま、③6/23~7/7男女共同参画週間(市庁舎ロビー)、④7/25~8/13女性と防災、⑤9/20~10/13わたしたちの働き方・暮らし方、⑥2/6~2/25セクシャル・マイノリティと地域をつなぐ写真展、⑦2/22~3/9国際女性デー(市庁舎ロビー)、⑧2/28~3/9国際女性デー(ほっと越谷)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数				
<目標> 7 回 <実績> 8 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
		さまざまなテーマのパネル展示を企画し、「ほっと越谷」や市庁舎ロビーに展示することにより、多くの市民に男女共同参画に関する理解を深める機会を提供できた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		「ほっと越谷」と市庁舎ロビーで、さまざまなテーマのパネル展示を実施した。LGBTの支援団体や関係機関から適宜パネルを借用する等して、男女共同参画に関する幅広い情報提供を行うことができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

005	事業名	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		地区センター等において、男女共同参画に関する講座、パネル展示等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①6/16「仕事を辞めた方対象講座 自分の生き方ひろげよう」、②9/8映画「逃げ遅れる人々」上映、③11/24「デートDV防止啓発講座」、④12/10「さまざまな人に配慮する防災を考える」、⑤12/21「デートDV防止啓発講座」、⑥12/22「年を重ねても輝く～柳兼子の生き方から考える」、⑦2/18「ためしてみよう！避難所疑似体験」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 5 回 <実績> 7 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:1,510人(女性807人、男性703人)		⑦2/18避難所疑似体験の講座では、「さまざまな課題が見えてきた。訓練は定期的に行わないと意味がない。詳細な計画のもとにいい訓練ができた」「何回もこうした体験ができればいい。体験してみないとわからない」などの定期的な開催を希望する感想が複数あった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		地域のさまざまな関係機関・NPO・団体をはじめ、草加市や春日部市(いずれも高等学校)にも出向き、男女共同参画の意識啓発を行うことができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
出前講座の実施継続に向け、事業の周知・広報が必要である。		出前講座のPRを広く行う。		

006	事業名	男女共同参画推進週間における事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	250,165円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の男女共同参画推進週間に合わせて、市民団体と協働で男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの周年事業(七夕フェスタ)を、登録団体その他の市民団体と協働で実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 登録団体が構成する実行委員会と共催で、七夕フェスタを開催した。7/1は「ほっと越谷」を会場に、雨天プログラムによるオープニングイベントを開催した。(参加人数:約1,500人)6/27～7/9までは、「ほっと越谷」で七夕フェスタを開催し、期間中に登録団体の企画展示や講座などを実施した。(参加人数:約800人)				
【活動実績(活動指標)】 延べ参加団体数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 80 団体 <実績> 131 団体		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
オープニングイベント:56団体 七夕フェスタ:講座25団体、展示28団体、交流会22団体		「ほっと越谷」を知ってもらうことを目的のひとつに、例年さくら広場と「ほっと越谷」の2会場をつなぎ実施しているオープニングイベントが、雨天により、「ほっと越谷」会場のみでの実施となったが、多くの市民団体との協働で事業を実施することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		実行委員会方式で、全登録団体が事業運営に携わることで、登録団体の「ほっと越谷」の実施事業に対する理解が深まるとともに、協働による連帯感を高めることができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
(※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
2(達成は不十分): 目標値の60%未満

007	事業名	市民との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	60,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民との協働による事業を企画実施することにより、男女共同参画に関する理解を深める。		公募した市民で構成する企画委員等との協働により、事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 公募による市民企画委員(6人)との協働で、「本からさがそう 新しい私」をテーマに図書の紹介と意見交換を行う「ブックサロン」を①8/27、②1/28の2回開催した。7/23～8/31には「ブックサロン」と同テーマで「ほっと越谷」の所蔵図書を展示する「ブックフェア」を開催した。				
【活動実績(活動指標)】 開催事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 2 回 <実績> 3 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:34人(女性26人、男性8人) 募集人数:35人(第1回20人:第2回:15人)		市民企画委員と「ブックサロン」を協働で企画・運営するにあたり、男女共同参画のテーマに即した図書選定の基準・考え方を示すことで、男女共同参画に対する理解を深めることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		市民と協働で事業を企画し、実施することで、男女共同参画の視点について深く推進することができた。また、事業の参加者に男女共同参画に関する理解を深めてもらうことができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

008	事業名	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	143,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民との協働による男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの登録団体および他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画、運営を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内で活動する団体から男女共同参画関連の講座企画を公募し、登録団体4団体が講座を開催した。①11/18「体験の実験講座発電の仕組みを知ろう」、②11/25「ヒューマンライブラリー 視覚障がい者編～私の見え方・私の感じる世界～」、③12/7「地域の担い手を増やす 福祉SOSゲームを越谷でつくる」、④1/25「いや! は自分を守る第一歩～CAP東埼玉の子育て講座～」				
【活動実績(活動指標)】 協働で開催する講座数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 6 回 <実績> 4 回		満足度 <目標> 80 % <実績> 94 %		
達成度 3 (達成まで今一步)		達成度 5 (十分に達成できた)		
事業開催団体は登録団体4団体、市民団体2団体としていたが、市民団体からの応募はなかった。		書類選考とプレゼンテーションを経て決定した開催4団体へは、助成金・会場・広報だけでなく、講座の企画・運営についても、個別の担当者企画会議などを通じての支援を行った。各団体が工夫し、男女共同参画の視点からさまざまなテーマの講座が開催された。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		担当者企画会議や講座の実施を通じて、開催団体の男女共同参画に対する理解を深めることができた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
事業の募集数を市民団体からは2事業としていたが、応募がなかった。市民活動を行う団体にとって、より活用しやすい事業に改善する必要がある。		市外で活動する団体も対象に加え、応募条件などの見直しを行う。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

009	事業名	所蔵図書の貸出し	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		所蔵図書の貸出しを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出を行った。週2回(木曜・日曜)の通常貸出しのほか、講座開催日の関連図書展示や事業と連動した「ブックフェア」の実施など、所蔵図書の紹介と利用促進を行った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
利用者数		利用者数		
<目標> 300 人 <実績> 416 人		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
利用者:416人(女性381人、男性35人) 貸出冊数:585冊		所蔵図書は男女共同参画に関する知識を持った職員が選定している。利用者の目線に合わせた書架の配置や展示、SNSを活用した新着図書やブックフェアの情報提供など、「手取りやすさ」に留意した工夫を行った。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		さまざまな機会に乗じた所蔵図書の紹介と利用促進の取り組みにより、利用者数は前年比183%(H28年度:227人)、貸出冊数は前年比174%(H28年度:336冊)と大きく増加した。図書・資料の提供を通じて、男女共同参画に関する理解を深めることができた。		
<H28実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

010	事業名	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のための情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の各課所に、性別による固定的イメージが含まれる刊行物を作成することがないよう意識啓発を図る。		ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のガイドラインを作成するとともに、ガイドラインに沿って刊行物が作成されているかを定期的にチェックする。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 リーフレットやチラシ、広報こしがや等、市で発行した刊行物を毎月5種類チェックし、チェック項目に該当する刊行物があった場合は、担当課所に今後の配慮をお願いしている。また、チェック結果を3ヶ月に1回庁内LANで報告することで、全庁的に作成時の注意喚起を図った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
チェックした刊行物の数		注意を喚起した刊行物の数		
<目標> 60 種類 <実績> 60 種類		<目標> 0 種類 <実績> 1 種類		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
		参加者を母親と断定する表現があったため、見た人の「育児は女性の役割」というイメージを助長する恐れがあることから、「お母さん」を「保護者」等の表現に変えるよう所管課に配慮を促した。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		リーフレットやチラシの作成の際に幾つかの課からアドバイスを求められるなど、ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成に対する所管課の意識も高まっているが、今後とも継続的な働きかけが必要である。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

011	事業名	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画の推進を妨げる事案に対して、市民が必要なときにいつでも苦情の申し出ができるように、苦情処理委員の周知を図る。		広報紙やホームページに男女共同参画苦情処理委員の情報を掲載するほか、随時チラシ等も用いて苦情処理委員の周知を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 年間を通じてPRリーフレットを市の施設に設置するほか、ホームページでも制度の紹介をしている。また、広報こしがや、ほっと越谷の情報誌「みてみてほっと越谷」に制度を紹介する記事を掲載するほか、成人式において新成人に制度を紹介するチラシを配布した。				
【活動実績(活動指標)】 広報紙やホームページ等でPRする回数 <目標> 3 回 <実績> 3 回 達成度 5 (十分に達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 <目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
①広報こしがや(2月号)、②「みてみてほっと越谷」42号(2月)、③成人式でのPRチラシ配布		さまざまな媒体や機会を利用し、男女共同参画苦情処理制度について広く周知を図ることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
平成28年度に引き続き、平成29年度は苦情の申し出がなかったが、男女共同参画に関する人権侵害等の事案は未だ存在しているものと思われるため、今後も積極的に制度の周知を行っていく必要がある。		今後とも積極的に周知を行う。		

012	事業名	職員に対する男女共同参画の啓発	課所 事業費	人事課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、男女共同参画に関する研修を実施することにより市職員の理解を深め、意識啓発を図る。		男女共同参画に関する研修を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 新採用職員及び新任主幹級職員を対象に、男女共同参画に係る研修を実施した。(新採用職員研修は4/4実施、監督職員(主幹級)研修は5/9に実施)				
【活動実績(活動指標)】 男女共同参画に関する研修の受講者数 <目標> 1 人 <実績> 174 人 達成度 5 (十分に達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 理解度 <目標> 100 % <実績> 92.5 % 達成度 4 (概ね達成できた)		
①新採用職員研修(4/1付採用):男性46人、女性83人 ②監督職員(主幹級)研修:男性27人、女性18人		人権・男女共同参画推進課職員を講師に「男女共同参画の意義や取り巻く環境」について講義を実施。研修後の受講者アンケートでは「理解できた」「概ね理解できた」や今後の業務の参考になる」との回答が多数を占めた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (3) 国際的な動向を考慮した意識づくり

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

014	事業名	国際的な動向についての情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の取り組みは国際的な動向と密接に連動しているため、国際的な動向についての情報を市民に提供し、男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		男女共同参画に関する国際的な動向について、情報提供を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女間の格差を示す国際的指数である「ジェンダー・ギャップ指数」と、「女性の人権向上のために～世界におけるユニフェムの活動～」の2つをテーマにして世界と日本の現状について、男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携して、市役所ロビー及び「ほっと越谷」でパネル展示を開催した。(市役所ロビー:2/23～3/9、ほっと越谷:2/28～3/9)				
【活動実績(活動指標)】 情報提供の実施回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 2 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
市役所、「ほっと越谷」でそれぞれ1回開催した。		市民に対して、世界の国々と日本の男女共同参画について考えてもらう機会を提供することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		今後も国際女性デー(3月8日)の前後を中心に、国際的な男女共同参画の動向に関する情報提供を実施する。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

015	事業名	保護者に向けた啓発資料の配布	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
家庭で男女共同参画の視点に基づいた教育が行われるよう、保護者に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		保育所(4歳クラス)、小学校3年生、中学校1年生の子を持つ保護者全員に男女共同参画意識の啓発資料を配布する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の幼稚園及び公立・私立の保育所の4歳児クラス、小学校3年生、中学校1年生の保護者全員に、家庭での男女共同参画に関するリーフレットを作成し、配布した。(配布部数:9,420部)				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配布数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 9,420 部 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
4歳児クラス 3,315部、小学校3年生 3,235部、中学校1年生 2,870部		子どもの数は毎年変動するため、配布数の目標値は設定していないが、対象となるすべての保護者に配布することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

016	事業名	教職員に向けた啓発資料の配布	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員の男女共同参画に関する理解をさらに深める。		市立の小中学校教職員全員に、男女共同参画意識の啓発資料を配布する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画意識の啓発資料を作成し、市内の小中学校教職員全員に配布した。(配布部数:1,475部)				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配布数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 1,475 部 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
平成28年度に引き続き、より現場の教職員に沿ったものとなるよう、教育における男女共同参画や性別の不一致に悩む児童生徒への対応について、市政世論調査等のデータを用いることで、分かりやすい紙面づくりを心がけた。		教職員全員に配布したことにより、教職員への男女共同参画に関する意識啓発をより一層推進することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

017	事業名	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	課所 事業費	指導課 25,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		教職員に向けて男女共同参画に関する研修会を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 研修参加者が各学校で児童生徒の人権感覚育成の推進ができるよう指導力の向上を図るため、講演会を8月1日(火)に開催した。講師として特定非営利活動法人LeBitよりLGBTと自認する学生・若者のメンバー3名を招聘し、LGBTを切り口にあらゆる子どもにとって力になる存在になるための体感的な研修を行った。				
【活動実績(活動指標)】 研修会参加人数		【取り組みの成果(成果指標)】 参加者の理解度		
<目標> 45 人 <実績> 45 人		<目標> 100 % <実績> 100 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳:男性21名、女性24名		「性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ」に視点を当てた体感的な研修を通して、教職員に男女共同参画に関する意識啓発を図ることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
学校現場には、LGBTの問題等、さまざまな男女共同参画に係る課題がある。今後も研修を通して、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		引き続き「性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ」に視点を当てた研修を通して、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		

018	事業名	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
家庭において保護者に子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を認識してもらう。		保護者に向けて、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てなど、男女共同参画の視点を踏まえた家庭教育に関する講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 児童館コスモスと共催で、2歳未満の子を持つ保護者を対象に、肯定的なしつけ等を提示して、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てについて学ぶ講座を実施した。10/27「がんばりすぎない子育て～子どもを知ることで楽になる～」				
【活動実績(活動指標)】 参加率		【取り組みの成果(成果指標)】 満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 86 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:22人(女性22人、男性0人) 募集人数:20人		「思いやりのある人になってほしいという長期的目標をたてたら、今何をすべきかを考える子育てをしようと思った」「育児の話を普段誰ともできないので、今日たくさん話すことが出来て嬉しかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

019	事業名	キャリア教育の推進	課所 事業費	指導課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
児童生徒に、性別による固定的役割分担にとられないキャリア形成ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発を図る。		キャリア教育を実践するため、中学校では職場体験、小学校では地域の方との交流などを行う。 キャリア教育…勤労観・職業観を身に付けるとともに、主体的に自己の進路を選択・決定する能力を育む教育		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 小中学校の総合的な学習の時間・特別活動の授業における「進路教育・キャリア教育」の推進。中学校で職場体験活動「社会体験チャレンジ」を実施。				
【活動実績(活動指標)】 実践校数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 45 校 <実績> 45 校		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
地域、家庭と連携を図りながら、授業や行事を通じた「キャリア教育」の推進を図ったために、児童生徒が職業観や未来への展望を持つことに繋がった。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
小中一貫教育を意識した、児童生徒の発達段階に即したキャリア教育を推進する必要がある。		小中一貫教育を通じて、良い実践例を広め、地域ごとの特性を生かした進路・キャリア教育を年間指導計画に位置づけ、確認・見直しを推進する。		

020	事業名	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配布	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 31,185円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
できるだけ早いうちから男女共同参画の考え方を意識してもらえよう、若年層に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		小学6年生全員に市の男女共同参画推進の基本的な考え方である「越谷市男女共同参画推進条例」のリーフレットを配布する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子ども向けリーフレットを配布した。(配布部数:3,381部)				
【活動実績(活動指標)】 条例リーフレットの配布部数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一部 <実績> 3,381 部		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
公民学習の時期(1月ごろ)に合わせて、小学校6年生及びその学級担任全員に配布した。		公民の学習時期(1月ごろ)に合わせて配布したことにより、効果的に啓発を行うことができた。また、配布時には活用例を記載するとともに、市のホームページから随時ダウンロードを可能にして活用の幅を広げることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		